

宮古語大神方言 動詞と形容詞の活用の概要

金田 章宏

1 はじめに

本稿は「平成 30 年度危機的な状況にある言語・方言のアーカイブ化を想定した実地調査研究」で調査した結果をもとに、文化庁委託事業成果報告会で発表（金田 2019）したのちにまとめたものである。

大神島についての基本情報や大神方言の音声音韻と表記、名詞の格の用法などについては前年度の報告書（金田 2018a）を参照されたい。また、本稿では用例を中心としたため、文法記述に関する基本的な内容については簡便にした。これについての詳細は高橋ほか 2005 を参照されたい。

話者情報：狩俣英吉氏（1925(T. 14)年 9 月 25 日生）

2 動詞活用の概要

本稿では動詞の活用と活用形の意味用法について記述する。肯定形を中心に扱うこととし、否定形については適宜ふれる。動詞活用のタイプについては本稿末に表をあげるが、詳細は稿をあらためたい。

2.1 活用表

動詞 num(飲む)、mi:ɿ(見る)、kSs·kɿ(来る)、asɿ(する)、ff(降る)を例にあげる。

終止形

のべたて

非過去 num / mi:ɿ / kSs·kɿ / asɿ // ff

過去 1 numi(=tu) / mi:(=tu) / k!isi(=tu) / asi // ffi

過去 2 numtaɿ / mi:taɿ / kSstaɿ / astaɿ // fftaɿ

はたらきかけ

意志勧誘 1 numa / mi: / ku: / asi // ×

意志勧誘 2 numati / mi:ti / ku:ti / asiti // ffati(uɿ)

命令 1 numi / mi:ru / ku: / assu // ffi

命令 2 numata / mi:ta / ku:ta / assita // ffata (否定形命令)

(依頼 あわせ形式を使用 numi fi:ru / nume:ri<numi jari)

願望 numte: / mi:te: / kSste: / aste: // ffte:

連体形 非過去 num / mi: / kSs / as~asɿ // ff

過去	numta ₁ / mi:ta ₁ / kSsta ₁ / asta ₁ // ffta ₁
動名詞	num / mi: / kSs / as // ff
中止形	中止 1 numi / mi: / kSsi / asi // ffi
	中止 2 numis!iti: / mi:s!iti: / k!isis!iti: / asis!iti: // ffis!iti:
	中止 3 numikara / mi:kara / k!isikara / asikara // ffikara
	中止 4 numis!iti:kara / mi:s!iti:kara / k!isis!iti:kara / asis!iti:kara // ffis!iti:kara
副動詞	目的 numka / mi:ka / × / aska // ×
	同時 numsse:N / mi:sse:N / kSsse:N / asse:N // ×
条件形	仮定 1 numtika: / mi:tika: / kSstika: / astika: // fftika:
	仮定 2 numapa / mi:pa / ku:pa / assipa // ffapa
	仮定 3 nume:<numija / mi:ja / k!isje: / asje:? / ffe:?
	既定 numtarapa: / mi:tarapa: / kSstarapa: / astarapa: // fftarapa:
譲歩形	numripamai・nummipamai・numapamai / mi:(ri)pamai / ku:pamai・kSsipamai / a(s)sipamai // ffapamai
接続形	順接 num(ta)ripa / mi:(ta)ripa / kSssipa / assipa // ?
	逆接 num(tas)suka / mi:(tas)suka / kSs(tas)suka / as(tas)suka // ff(tas)suka

2.2 終止形

ムードについて

この方言では、できごとに対する話し手の認識の確かさにかかわるムード表現（断定・推量）は、共通語などのような活用語形の対立によってではなく、確かさにかかわる補助的な単語との組み合わせによってあらわされる。

断定的な表現ではハダカの語形が使用されるほか、当為・予定的な意味をあらわす **kumata** と組み合わさるし、より断定性がさがるとハズに対応する **pak₁**、さらにさがると古代語のベシに由来する **pe:m** が使用される。したがって、この点に関しては活用形レベルのムードの対立はみられない。

否定形について

否定の非過去形には **numaN** と **numate:N** の2語形がある。**numaN** は意志的な意味のない文に使用され、「～しない、まだ～していない」の意味になる。このことと関わって、継続動詞の否定形 **numi uraN** の使用が多くはみられない。**numate:N** は意志形 **numati** との関連が考えられる語形で、単独の述語では一人称の意志的な意味（する意志がない）に使用されるが、伝聞などに使用されると人称制限がなくなる。

m[mita] ɣriN. まだ入れていない。私は。もう入れたか?の返事。

m[me] ɣrite:N. もう入れない。私は。もっと入れるか?の返事。

fa:]te:N [tim. 食べないって。あの人は。

a[ta:] ffa[te:N] pe:m. あしたは降らないんじゃないかな。

2.2.1 のべたて形

非過去 1 num / mi:ɿ / kSs·kɿ / asɿ // ff

非過去 2 num=tu sɿ / mi:=tu sɿ / kSs=tu sɿ / as=tu sɿ // ff=tu sɿ

過去 1 numi(=tu) / mi:(=tu) / klisi(=tu) / asi // ffi

過去 2 numtaɿ / mi:taɿ / kSstaɿ / astaɿ // fftaɿ

過去 3 num=tu staɿ / mi:=tu staɿ / kSs=tu staɿ / as=tu staɿ // ff=tu staɿ

非過去形 1 num / mi:ɿ / kSs·kɿ / asɿ // ff

動詞に強調辞のつかない語形で、基本的には未来テンスをあらわす。存在動詞には動詞以外の文中に強調辞があるときの語形 uɿ/aɿ と、それがないときの語形 um/am の区別がある。

・個別の未来

uri:=pa:] kari=mai=tu [fa]u. これはあいつも食べるよ。

kari=ka=tu] munu:=[pa:] sukaɿ. あの人が食事を作るよ。

kare:] mata=tu [num]ka kS:. あの人はまた飲みに来るよ。

・個別の現在

taro:] =ka=tu [peɿ. 太郎が行く。見つけて。

taro:] =ka=tu kɿ. 太郎が来た。見つけて。

・反復習慣

kanu pStu:] ikS=mai=tu uma=u ikɿ. あの人はいつもここに行く。通る。

ikS=mai] uri=ka=tu] ukam. いつもこれが拝む。この人が

kare:] ju:tu fau. あいつはよく食べる。

・存在動詞

katam=nu]=tu uɿ. 蚊がいる。

kare:] ata=mai um. あの人はあしたもいるよ。

maɿ=[a] am? > [pi:]maka:=tu aɿ. 米はある? > 少ししかない。

[am. あった！

非過去形 2 num=tu sɿ / mi:=tu sɿ / kSs=tu sɿ / as=tu sɿ // ff=tu sɿ

動詞に強調辞がついたときの分析的な語形である。分析形にあらわれるスルに相当する補助動詞は sɿ であるが、本動詞スルは asɿ である。

・個別の未来

ka[ri=mai] ikS=tu s₁. あの人も行くよ。
 mme[su[ti]=tu s₁. もうかえるよ。鶏の卵が。
 m[mesku] uwa₁=tu s₁. もうすぐ終わるよ。
 mmesku] ff=tu s₁. もうすぐ降るよ。
 ・ 反復習慣
 ikS=mai] arau=tu s₁. いつも洗う。
 ju:=tu] kanu pStu[: a:ku]:=pa[:] a₁. よくあの人は歌を歌う。
 ure: ikS=mai a₁=tu] s₁? これはいつもあるか? 品物

・ 存在動詞
 ma₁=a a₁=tu] s₁? > [a₁]=tu [s₁. 米はある? > あるよ。
 a₁=tu s₁. あった!
 na[ukara:=nu=tu u₁? > N: u₁]=tu s₁. なにかいるの? > うん、いるよ。
 kare:] ata=mai u₁]=tu s₁. あの人はあしたもいるよ。

存在動詞ではこのほかに補助動詞 u₁ との組み合わせが使用される。

uri]=tu u₁. いる。
 uma=N=[tu] uri:]₁. ここにいる。< uri u₁
 uma=N=mai=tu] ari:]₁. ここにもある。< ari u₁
 u[ma=N] ari:]₁. ここにあるよ。< ari um

過去形 1 numi(=tu) / mi:(=tu) / k!isi(=tu) / asi // ffi

中止形と同音の語形で、存在動詞アリとの融合形とされている。動詞以外の文中に強調辞がないばあいは、文のタイプによって動詞に強調辞がつく。この語形は存在動詞にはみられないようだ。過去形 2 よりも使用頻度が高いが、使い分けの明確な基準は確認できていない。存在動詞のこの語形はみられない。

・ 個別の過去
 skama=u] asse:N=[tu] kaNkai. 仕事をしながら考えた。
 katam=nu=tu] sasi. 蚊が刺した。
 nau=ju=tu nu]mi? なにを飲んだ?
 k!isi]=tu. 来たよ。手紙が。教える。
 ・ 習慣・反復
 nna]ma=kami=tu [ifu]mmai pi:. いままで何回も酔った。
 uri:]]=pa: [ifu]mmai=tu mi:. これは何回も見た。
 ifum]mai=[tu] ivvi. 何回もこわがった。

過去形 2 numta₁ / mi:ta₁ / kSsta₁ / asta₁ // ffta₁

日本語の古代語シタリ形に対応するとされている。強調辞が動詞につかない語形である。非過去 1 存在動詞と同様、動詞以外の文中に強調辞があるときの語形～₁ と、それがないときの語形～_m の区別がある。

・ 個別の過去

u[pu:sa=tu] ka]u[ta]₁. たくさん買った。

kSsa:] kama=N=tu ata:₁. さっきはあそこにあった。むこうに

ki:=mai] app₁tam. きょうも遊んだ。

ju]mtam. 読んだよ。読み終わって返すとき。

・ 習慣・反復

i[ke:m:na] uri=si=tu [ap]p₁ta₁ [ju. むかしはこれで遊んだよ。

ike:m:na] ju:=[tu] huni: kuk₁ta₁. むかしはよく船をこいだ。

・ 存在動詞

kari=mai=tu] uta₁. あいつもいた。

aN=mai] utam. 私もいた。

ka[ma=N=tu] ata₁. あそこにあった。

a[tam. あったよ。

過去形 3 num=tu sta₁ / mi:=tu sta₁ / kSs=tu sta₁ / as=tu sta₁ // ff=tu sta₁

動詞に強調辞がついたときの分析的な語形で、非過去 2 の過去形である。

・ 個別の過去

ka[re:] pe₁]=tu sta₁. あの人は行った。

mi]:=tu sta₁. 見た。いま、飛行機が飛んでいるのを。

aN=mai] pi:=tu sta₁. 私も酔った。

・ 存在動詞

aN=mai] u₁=tu sta₁. 私もいた。

2.2.2 はたらきかけ形

意志勧誘 1 numa / mi: / ku: / asi // ×

意志勧誘 2 numati / mi:ti / ku:ti / asiti // (ffati)

命令 1 numi / mi:ru / ku: / assu // ffi

命令 2 numata / mi:ta / ku:ta / assita // ffata (否定形命令)

(依頼 あわせ形式を使用 numi fi:ru / nume:ri<numi jari)

意志勧誘 1（勧誘形）はおもに勧誘表現に使用されるが、話し手の意志的な用法もみられる。また、意志勧誘 2（意志形）は、意志勧誘 1 の引用形式に由来する語形とみられるもので、おもに話し手の意志の表現に使用されるが、**ma:takina**（いっしょに）などの副詞とともに勧誘表現にも使用される。述語に使用されたばあいには人称制限があるが、伝聞などのなかに組み込まれると、人称に関係なく意志性や様態などをあらわす用法で使用する。

意志勧誘形 1（勧誘形） **numa / mi: / ku: / asi //** ×

勧誘

聞き手に対して、話し手とともに動作をするようはたらきかける。

kanu **ka:ssɿ=pa: tu:ta=ka mita:ɿ=si** [fa:]. あのお菓子は自分たちが三人で食べよう。
ma:takina **uka**[ma. いっしょに拝もう。
u[kam]fkɿ a[si] aɿa. 大神言葉で話そう。大神口で話そう。
mata **ku:**. また来よう。
ma:takina **ta:vva**[sa. いっしょにたぶらかそう。

意志

この語形は、用例としてはわずかだが、話し手の意志の意味で使用されることがある。

aka **nu**[ma. 私が飲む。
Nme **a[si]**. もうしよう。やろう。独話

意志勧誘形 2（意志形） **numati / mi:ti / ku:ti / asiti //** (ffati)

意志

話し手の意志的な動作をあらわす。

aka **tafke:=si** [fa:]ti. 私が一人で食べよう。
a[Nsi:] uma:ti. そう思おう。
ki:=ja [pi:]ti. きょうは酔おう。
ki:] ja:ɿ=pa: asiti. きょうお祝いをしよう。
aka **pakai** **ku:**[ti. 私が奪ってくる。

これに対応する否定的な意志の意味に使用されるのは、この語形がもとになったとみられる **numate:N / mi:te:N / ku:te:N / asite:N / (ffate:N)**である。一人称でも意志的でない予定的な意味や三人称では、**numaN / mi:N / ku:N / asiN / (ffaN)**が使用される。

ara:] numate:N. 私は飲まない。

taru=[mai] numaN. だれも飲まない。
a[ra:] i[kal]te:N. 私は行かない。
kari=[mai] ikaN. あの人も行かない。

勧誘

この語形は勧誘の意味で使用されることがある。

tu: Nme] Nki[ti. さあ、もう行こう。
munu: kauka ika]ti. ものを買いに行こう。
ma:ta]ki[na] katiti. いっしょに耕そう。
N[ta=N]ki [fa:]ti? どこで食べようか？

命令形 1 numi / mi:ru / ku: / assu // ffi

聞き手にその動作をするよう強くはたらきかける。人の意思的な動作でない場合は話し手の願望をあらわす。

・命令

ka:ma=Nkai] muti iki. 遠いところに持っていけ。
ma:takina] tati. いっしょに立て。
mmapi] mai=N[kai] jusiru. もっと前に寄せろ。
kakata] uki. 書かないでおけ。

fa:ta] ma[ti:]ri. 食べずに待っている。（継続相）

・願望

pe:pe:] ffi. 早く降れ。
pe:pe:] saki. 早く咲け。

命令形 2 numata / mi:ta / ku:ta / assita // ffata（否定形命令）

聞き手にその動作をするよう強くはたらきかける。語形としては否定の中止形（シナイデ）と同音になり、直訳としては～シナイカ！に対応するが、日本語でこの表現がいますぐの命令になるのに対して、この語形は命令 1 とおなじく、未来の動作の命令にも使用される。人の意思的な動作でない場合は話し手の願望をあらわす。

・すぐの命令

vva=ka] nara:sata. あなたが教えろ。
m[mapil] jaita. もっと痩せろ。
u[ma=N] ka[ke:]rata. ここに書いてくれ。＜kaki jarata
vva] suna:si:]rata. あなたは黙っている。（継続相）＜suna:si urata

・未来の命令

ata=Nkai] numata. あした飲め。
 ata=[mai] pe:pe: pe]ra[ta. あしたも早く帰ってほしい。
 ・願望
 m[mapil] ffata. もっと降れ！空に向かって。
 pe:pe:] saka[ta. 早く咲け。花に。

否定命令形 1 numna / mi:Nna / kSsna / asna / ffna

否定の命令形は禁止の意味に使用される。人の意思的な動作でない場合は話し手の願望をあらわす。

・命令：禁止
 aN[si=nu] k!utu: kaNkaiNna. そんなことを考えるな。
 uri:=pa:] stiNna. これは捨てるな。
 Nme] k[mu i]tiNna. もう怒るな。
 iv]viNna. こわがるな。
 ・願望
 mme] ffna. もう降るな。
 nnama ke:]riNna. まだ消えるな。
 [sukumiNna. 沈むな。

否定命令形 2 numtu: / mi:ɿtu: / kSstu: / astu: / fftu:

否定命令形 1 と同じ意味に使用される語形である。人の意思的な動作でない場合は話し手の願望をあらわす。

・すぐの命令
 mme kaN]kaiɿtu:. もう考えるな。
 uri:=pa:] vvtu:. これは売るな。
 u[ri kSsi]ɿtu:. これを着るな。
 u[ma=N] uɿ[tu:. ここにいるな。
 ・未来の命令
 ata:] num[tu:. あしたは飲むな。
 ・願望
]sɿtiɿtu:. 消えるな。
 mme] fftu:. もう降るな。
 suku]m[tu:. 沈むな。

2. 2. 3 願望形

願望形 numte: / mi:te: / kSste: / aste: // ffte:

希望形容詞 numpuskam（飲みたい）は基本的に一人称の動作であるが、願望形は基本的には三人称に対する願望に使用される。ただし、試行の意味の派生動詞では話し手自身の願望にも使用される。

pe:pe:] nau]te:. 早く治ったらいいのにな。

Nma[pi] unakai u]te:. もっと長くいてほしいな。

Nma[pi] upu:sa a]te:. もっとたくさんあってほしい。あって！

pe:pe:] ff]te:. 早く降ったらいいな。降って！

・一人称

fa[i] mi:]te:. 食べてみたいなあ。

N[ki] mi:]te:. 行ってみみたいなあ。

mmepi k!i[si] mi:]te:. また来てみたいなあ。

2.3 連体形

非過去 num / mi: / kSs / as~as] // ff

過去 numta] / mi:ta] / kSsta] / asta] // ffta]

名詞をかざる語形で、終止形の非過去形、過去形2と同形である。

日本語には相対的テンスの用法があって「あした来た人に見せる」のようにいえるが、この方言では話の時を基準にした絶対的テンスだけのようである。したがって、終止形と連体形を区別する根拠は、この点では日本語ほど明確ではない。

ata=Nkai] kSs pStu=N uri:=pa: [fi:]ti. あした来る人にこれを（あした）やる。

ata=Nkai] kSs kumata=nu pStu=[N] uri:=pa: [fi:]ti. あした来る予定の人にこれを（いま）やる。

2.3.1 非過去形 num / mi: / kSs / as~as] // ff

kire:s] pStu=nu=tu [mi:N. 蹴る人がいない。

kama=N u] pS]ta: [taru? あそこにいる人はだれ？

as kumata:] ne:N. することがない。する「予定」がない。

結果・痕跡相の連体形では語形末の] が脱落することがある。（結果の状態なので意味的には過去になる）

pusje:] munu: tuNki. 干したものを取り込め。<pusi a]

u[tusje:] munu: pSsui ku:. 落としたものをひろってこい。<utusi a]

ka[ke:] munu: jumi. 書いたものを読め。 <kaki a]

形式名詞 munu と組み合わせさせて動名詞化する。

as] muna: [ne:N ftu] nari. することはなくなった。

fau] munu:=[pa: na]mari. 食べるのをやめろ。

pa[ri:] sau munu: namari. 畑をするのをやめろ。

num] munu:=[pa:] numa[ta] uri. 飲むのを飲まないでいろ。飲むのをやめろ。

k]: ka]kS munu:=[pa:] namari:]ri. 字を書くのをやめている。やめろ。

2.3.2 過去形 numta] / mi:ta] / kSsta] / asta] // ffta]

sa[k]N] num[ta] munu: muti ku:. さっき飲んだものを持ってこい。

mi:[ta] munu: a]ri. 見たことを言え。

kSsk]ta] munu: a]ri. 聞いたことを言え。

sakSN uma=N uta] pSta: ta]ru? さっきここにいた人はだれ?

ja:] turi kSsta]]wu:=[pa: vv]=tu s]. お父さんは取ってきた魚を売る。

satari klisi:ta] pStu: ta]ru? さっき来ていた人はだれ? (継続相)

kunusak] ite:uta:] pStu]=nu=[tu [cau]kata]. このまえ会っていた人がよかった。(継続相)

2.3.3 否定形

uri:] a[siN] pSta: [mi:N. これをしない人はいない。

fai=ja:] mi:N munu:=tu [kai k!i]sje:]. 食べたことのないものを買ってきてある。

uri:] numata[ka:] nau=mai sitata] munu:. これを飲まなければどうもしなかったのに。

2.4 動名詞

動名詞 num / mi: / kSs / as // ff

先行する名詞を格支配して動詞的にはたらき、後続する動詞に格支配されて名詞的にはたらく。過去形もあるかと思われるが手元の資料にはみられなかった。

mu[nu:] fau=ju=[pa: na]mari. ものを食べるのをやめろ。

sa[k:] num=u=[pa: na]mari. 酒を飲むのをやめろ。

pa[ri:] saVvu=[pa:] jukui. 畑を(ヘラで)耕すのを休め。

k]: kakSsu=[pa:] namari. 字を書くのをやめろ。

動作の比較ではハダカのかたちであらわれる。

num]=ju[ɿ] fau=tu] masɿ. 飲むよりも食べるほうがいい。
 fau]=ju[ɿ] num=tu] masɿ. 食べるよりも飲むほうがいい。
 mi:] =ju[ɿ] fau=tu] masɿ. 見るより食べるほうがいい。
 ff]=ju[ɿ] ffaN=tu] masɿ. 降るより降らないほうがいい。

比較の意味には NkSuke: も使用されるが、対岸の狩俣地区的な表現だという。

a[sɿ=NkSske:] a[siN=tu] masɿ. するよりしないほうがいい。
 mi:] =N]kSske: [fau=tu] masɿ. 見るより食べるほうがいい。
 ff=NkSske:] ffaN=tu] masɿ. 降るより降らないほうがいい。

～mta: ssaN のかたちで、「～するのがへただ」の意味になる。

a[ra:] a:ku:=pa: [aɿmta:] ssaN. 私は歌を歌うのがへただ。
 jummta:] ssaN. 読むのがへただ。
 ara:] kFfmta: ssaN. 私は作るのがへただ。
 faum[ta:] ssaN. 食べるのがへただ。

つぎの用法では、連体形のハダカの形なのか全体で一語化しているのか判然としない。

jum] taukɿ. 読むのがじょうずだ。（読みじょうずだ？）
 fau] tau[kɿ. 食べるのがじょうずだ。（食べじょうずだ？）
 ara:] kFf taukɿ. 私は作るのがじょうずだ。（作りじょうずだ？）
 kare: aɿ] taukɿ. あの人は歌う/話すのがじょうずだ。（歌いじょうずだ？）

2.5 中止形

中止 1 numi / mi: / k!isi / asi // ffi
 中止 2 numis!iti: / mi:s!iti: / k!isis!iti: / asis!iti: // ffis!iti:
 中止 3 numikara / mi:kara / k!isikara / asikara // ffikara
 中止 4 numis!iti:kara / mi:s!iti:kara / k!isis!iti:kara / asis!iti:kara // ffis!iti:kara

2.5.1 中止形 1 numi / mi: / k!isi / asi // ffi

先行する動作や、動作の仕方などをあらわす。また、補助動詞と組み合わせさせて派生動詞を作る。

ki:=nu] pa:=nu=[tu] uti [sa]ri:ɿ. 木の葉がおちて枯れている。
 uri:] numi [niv]vi. これを飲んで寝ろ。

kari=ka=tu] naosi fi:. あの人が直してくれた。あの人に直してもらった。
 kari=kara [pakai] mi:ru. あいつから奪ってみろ。

目的のために移動するばあい、「～しに行こう」よりも「行って～しよう」や、目的形を使用した「行って～しに」の形がよくみられる。

tu:] iki mikɿ:] numi [ku:. さあ、行って水を飲んで来よう。
 ti:] iki] kari: mi:ka. さあ、行ってあれを見に（行こう）。

2.5.2 中止形2 numis!iti: / mi:s!iti: / klisis!iti: / asis!iti: // ffis!iti:

先行する動作であることを明示する。中止形3や中止形4との違いはまだわからない。

kFfis!iti:] fa:[ti. 作ってから食べよう。
 mi:s!i]ti:=[tu] umuiti. 見ってから思い出した。
 uri:] numis!iti: [niv]vi. これを飲んでから寝ろ。
 u[ri:] kSsis!i]ti:] iki. これを着てからいけ。
 gakko:=N] appis!iti:=[tu] ja:=Nkai [k!isi. 学校で遊んでから家に帰った。私は。

2.5.3 中止形3 numikara / mi:kara / klisikara / asikara // ffikara

先行する動作であることを明示する。

vva=ka] numika[ra] ara: nu]mati. あなたが飲んでから私が飲む。
 fa:=nu] nivvika[ra] nivvati. 子どもが寝てから寝る。私は。
 uri=ka] faikara fai. この人が食べてから食べろ。
 kari=ka] umikara[tu] ara: [numi. あの人が飲んでから、私は食べた。

2.5.4 中止形4 numis!iti:kara / mi:s!iti:kara / klisis!iti:kara / asis!iti:kara // ffis!iti:kara

先行する動作であることを明示する。

uri:] fais!iti:ka[ra niv]vi. これを食べてから寝ろ。
 numis!iti:ka[ra] ikati. 飲んでから行く。私は。
 fa:=u] nivvasi s!iti:ka[ra] nivvati. 子どもを寝かしてから寝る。私は。
 uri:] assis!iti:[kara] kuri:=[pa:] assu. これをしてから、これをしろ。

2.6 副動詞

目的 numka / mi:ka / × / aska // ×

同時 numsse:N / mi:sse:N / kSsse:N / asse:N // ×

2.6.1 目的形 numka / mi:ka / × / aska // ×

移動動作の目的をあらわす。

u[pu=ɣwu]=tuɣka ika. 大きい魚をとりに行こう。

ukam[ka] i[ka. 拌みに行こう。

a:ku:] aɣ[ka] i[ka. 歌を歌いに行こう。

atukara] ɣwu=kSska i]kati. あとで魚釣りに行くよ。

munu:] kauka=[tu] iki kSsi. ものを買いに行ってきたよ。買い物をしてきたよ。

目的形で文を終止する。

muti iki] ipi[ka. 持って行って植えに（行こう）。

ti:] gakkō:=N[ki ap]pɣ[ka. さあ、学校に行って遊びに（行こう）。

kari:] mi:[ka. あれを見に（行こう）。

2.6.2 同時形 numsse:N / mi:sse:N / kSsse:N / asse:N // ×

主節のあらわす動作と同時にされる動作をあらわす。日本語にみられる逆接の用法はみられない。

terepi:] mi:sse:N=tu [umu]iti. テレビを見ながら思い出した。

uma=Nkai] kSsse:N=[tu] kaNkai. ここに来ながら考えた。

kuri:] as[sje:N] kuri:=[mai] assu. これをしながら、これもしろ。

a:ku:] a[ɣsse:N] kaki. 歌を歌いながら書け。

faussje:N] numi. 食べながら飲め。

kFfsje:N] fai. 作りながら食べろ。

2.7 条件形

仮定 1 numtika: / mi:tika: / kSstika: / astika: // fftika:

仮定 2 numapa / mi:pa / ku:pa / assipa // ffapa

仮定 3 nume:<numija/mi:ja/k!isje:/asje:?:ffe:?

既定 numtarapa: / mi:tarapa: / kSstarapa: / astarapa: // fftarapa:

2.7.1 仮定 1 numtika: / mi:tika: / kSstika: / astika: // fftika:

仮定条件をあらわす。

mmitika: ki:=nu] naɿ=[a] sɿtaiN=tu] utiru. 熟したら木の実は自然におちる。
 ututu:] numtika: [sku=tu] pi:ɿ. 弟は飲むとすぐに酔う。
 ami=nu] fftika: [N]kiti. 雨が降ったら帰る。
 kFfaitika:] mi:siti. 作られたら見せる。できあがったら。
 tatakai]ti[ka:] a[N=mai] tataki=tu. たたかいたら、私もたたいてやるよ。
 vva=ka] asi fi:tika: [tau]kassuka=tu. あなたがやってくれるといいんですけど。
 failjati[ka: sɿ]nita:ɿ. 食べていたら死んでいた。
 uri:] nu[mi] ukSti[ka:] nau=ja asitatam. これを飲んでおけば、どうもしなかったのに。
 vva=ka] numatijati[ka:] ara: [nu]mate:N. あなたが飲むなら私は飲まない。

2. 7. 2 仮定 2 numapa / mi:pa / ku:pa / assipa // ffapa

仮定条件をあらわす。

kari=ka] pɿa[pa] asiti. あの人が座ったら、する。私は。
 ata=Nkai] ku:pa [fi:]ti. あした来たらあげる。あしたやる。
 u[tita] uripa=[tu] taukassuka=tu. 落ちないでいればいいけど。
 Nma[pi] kFfipa=tu taukataɿ. もっと作ればよかったのに。
 uri=[ka] aripa=tu [tau]kaɿ. これがあればいい。じゅうぶんだ。
 ffuɿ=wu] nume:ripa nauɿ]=tu sɿ. 薬を飲んであれば治るよ。もうすぐ

2. 7. 3 仮定 3 nume: / mi:=ja / k!isje: / asje:? / ffe:?

中止形にとりたて ja がついたもの（融合）とみられる。仮定条件をあらわす。

u[ri:] fai=[ja] dami. これを食べてはダメだ。
 u[ma=N] uri:re:] dami. ここにいてはだめだ。
 kFfe:] masɿ. 作ればいい。作ったほうがいい。
 uri:] numi:[ka:] nau=ja asitatam. これを飲んでおけばなにもしなかった。<numi uki=ja

2. 7. 4 既定 numtarapa: / mi:tarapa: / kSstarapa: / astarapa: // fftarapa:

すでに起こっている動作を条件にする。

mi:tara[pa:] Nkiru. 見たなら帰れ。見た。
 fftara[pa:] Nkiru. 降ったなら帰れ。降った。
 mme numtarapa:] nnasi:ki. もう飲んだなら片付けろ。飲み終わった人に。

2.8 譲歩形

譲歩形 numripamai・nummipamai・numapamai / mi:(ri)pamai /
ku:pamai・kSsipamai / a(s)sipamai // ffapamai

主節のあらわすことがらの成立に対して無効な条件をさしだす。

ki:=ju] jurukasapamai au naɿ=[a] utiN. 木を揺らしても青い実はおちない。
uri:] numripamai=[tu] nauratataɿ. これを飲んでも治らなかった。～nao
iki] mi:pa[mai] tuɿna. 行って、見ても採るな。魚などを
matcja=N[kai] ikapa[mai] nau=ju=[mai] ka[u]na. 店に行ってもなにも買うな。
～してもいい、～してもだめだ
kɿnu:] pi:pamai [tau]katam. きのは酔ってもだいじょうぶだった。
ujukapamai ta[u]puN? 泳いでもいいか?
a[ta:] nu[ka:nuka] ku:pamai. あしたはゆっくり来ても（いい）。
aNsipaka:] ffapamai dami. このぐらい降ってもだめだ。

2.9 接続形

順接 num(ta)ripa / mi:(ta)ripa / kSssipa / assipa // ? 飲むから・飲んだから
逆接 num(tas)suka / mi:(tas)suka / kSs(tas)suka / as(tas)suka // ff(tas)suka 飲むけど・飲んだけど

終止形をもとにつくられ、テンスの対立がある。

2.9.1 順接 num(ta)ripa / mi:(ta)ripa / kSssipa / assipa // ?

原因理由的な意味で主節につづく。

kari=ka] numri[pa] ara: [nu]mate:N. あの人が飲むから私は飲まない。
kari=ka] mi: uri[pa] ara: [mi:]te:N. あの人が見ているから私は見ない。
mi:taripa] perati, paɿata. 見たから帰るよ、入らないで。顔を見たから、会ったから。
a[ri:]ripa=[tu] kai kɿ:. あるから買ってくる。
u[pu:sa] ari:ri=[tu] naupasi as kata:] ne:N. たくさんあるから、どうすればいいか分からない。（pa ナシの語形）

順接の非過去のうち意志的な用法では意志形がもとなる（<シヨウトスルカラ）。
saNzi=nna] turati: ku:tissi[ba uN=ta:sje: assi:]ki. 3時には取りに来るから、それまでに

している。終わらせろ。

saNzi=N] turati: ku:tissi[ba saNzi]=ta:[sje: assi uski:ki. 3 時に取りに来るから、3 時まで
でにしておいていろ。終わらせろ。

aN=[mai] uritis[sje:] vva=[mai] uriru. 私も降りるから、あなたも降りろ。バスを。

2.9.2 逆接 num(tas)suka / mi:(tas)suka / kSs(tas)suka / as(tas)suka //
ff(tas)suka

ふたつのできごとの関係を逆接的にとらえたり、前提をあらわしたりする。

ki:=ja] ffsuka=[tu] a[ta:] ffaN. きょうは降るけど、あしたは降らない。

ki[sa:] uma=N=tu atassuka=tu [Nnama:] ne:N. さっきはここにあったけど、いまはな
い。

u[nakai ku:]tatassuka=[tu ki:]=ja [klisi:]γ. 長いこと来なかったけど、きょうは来ている。

a[pire:ssuka=[tu] ku:N. 呼んだけど、来ない。

ara:] numatissuka vva: naupasi asiti? 私は飲むけど、あなたははどうする？

3 動詞派生形式

3.1 継続動詞

動詞中止形と補助動詞 uγ との組み合わせによる。

・動作の持続

kare:] mus=sui=[tu ap]pi:γ. あいつは虫と遊んでいる。

nikai=kara=[tu] ti:=[ju tata]ki:taγ. 二階から手をたたいていた。

・変化の結果の持続

m:[na] ukana:ri=tu uγ. みんな集まっている。

kγnu=kara=tu] javvi:γ. きのうちから壊れている。

sγ[ti:]ri. 消えている！ 火に言う。

・くりかえし

kanu] fta:γ=[a] ikγ[mai] i[te:]i=tu uγ. あの二人はいつも会っている。

ami=nu=te:N=tu ffi:γ. 雨ばかり降っている。

ike:]m:[na] piNta=u=pa: pakγ=u=[tu] sγmari:taγ. むかしはヤギを、足をしばっていた。

・状態

u[re:] makγmunu=Nsi=[tu] mi:rai uγ. これはお化けに見える。見えている。

a[N=mai] aNsi=tu umui uγ. 私もそう思っている。

jupe:] pussa [tiri]=tu utaγ. タベは星は光っていた。照っていた。

・関係

γa]=N=[tu] niti:γ. お父さんに似ている。

taru=NkSke:] masari=tu u₁/sukuri=tu u₁. だれよりもまさっている。

・連体形

aN[si=nu] mu[nu:] kaNkai u₁ pStu: [mi:N. そんなことを考えている人はいない。
ffari:] munu:=kami=tu [fai. 腐っているものをまで食べた。

・否定について

継続動詞の否定形 (numi uraN) も使用されるが、それ以上に numaN (意思動詞完成相の否定形)、numi ukaN (シテオク numi uk₁ の否定形) などの使用が多い。

N[mita] fai=ja] u[raN. まだ食べてはいない。私は。食べたかと聞かれて。

u[maN] numi:raN ne:. (なぜ) ここで飲んでいないか! <numi uraN

N[mita] fa:N. まだ食べていない。(意思動詞完成相の否定形)

N[mita] a[₁ke:] ukaN. まだ歩いてはいない。(シテオク numi uk₁ の否定形)

unakai] ite:i=[ja] mi:N. 長く会っていない。

3.2 結果動詞

動詞中止形と補助動詞 a₁ との組み合わせによる。動作や変化の結果の状態にあることや、その痕跡が存在していることをあらわす。

・意思動詞

mme] nara:sita:]₁. もう教えてある。<nara:si=tu a₁

Nnama] uma=Nkai=[tu] muti k!isje:]₁. いまここに持ってきてある。<klisi a₁

a[ra:] ja[ri]jariti:=[tu] na[ra]pe:]₁. 私はだめにならべてある。

a: [zjo:to:N=tu u]re:]₁. ああ、きれいに織ってあるねえ。見ながら。

i:]pa:=[tu] nume:]₁. 飲んでおいてよかった。

k₁nutu] taukara:ka a₁]ke:ta₁. きのうちれかが歩いてあった。痕跡。<a₁ki ata₁

・無意思動詞

k₁nu=tu] kairi pu[ni:] pure: a₁. きのうち転んで骨を折ってあるよ。

taukara:=ka=tu pi:] mu[nu:] pa[ke:]₁. だれかが酔ってものを吐いてある。

jupi=tu ami=nu] ffe:]₁. ゆうべ雨が降ったようだ。

3.3 受動動詞

～レル型の動詞である。動作の対象が主語になり、動作の主体が与格であらわれる。日本語では主体がカラ格であらわれることもあるが、この方言ではそれはみられない。

a[Nsi:] uti[ka:] ₁[aissa] ja. そんなことをしているとしかられるよ。

ka[ri=N=tu] tatakai. あいつになぐられた。

siNsi:=N]=tu [ho]mirai. 先生にほめられた。

tuɿ=wu=pa:] piNkiraiN] jo:N [pakɿ: sɿ]mari. ニワトリを、逃げられないように足をしばれ。

やりもらいの「～してもらう」の意味で受動動詞が使用されることがある。

ni:=nu] ivkari:ri=tu mu[ti] fi:raitai. 荷物が重いから持ってくれられた。＝持ってもらった。

aN=mai] isja=nu mai=Nk!i[tu] mi:rai k!i]si. 私も医者の前に行って診られてきた。＝医者に行って診てもらってきた。（「医者」は場所名詞化する必要がある。）

ka[ri=N=tu] ukusai. あの人に起こされた。＝起こしてもらった。

3.4 使役動詞

～ス型（ノマス）と～シム型（ノマシム）の使役形がある。動作主体に対してその動作をするよう指示する人が主語になる。

・～ス型

kaɿkari:ri=[tu] fta:kS [muta]si. 軽いから二つ持たせた。

vva=N] kFfasati. あなたに作らせよう。

kaVvasata u]ri. かぶらせないでいろ。帽子を

・～シム型

kari=N] asɿsɿmiru. あの人にやらせろ。

uri:] mutasɿmiti. これを持たせよう。おみやげに。

taro:=[ka] kSsisɿmi[ti] tim. 太郎が着させるそうだ。

やりもらいの「～してもらう」の意味で使役動詞が使用されることがある。

kari=N=tu] numasi. あの人に飲ませた。＝飲んでもらった。

3.5 使役受動動詞

使役動詞をもとにした受動動詞である。動作主体が、他者の指示を受けて別の第三者に動作を指示する。

aka numasai]sɿmiraitai. 私が飲まさせられた。＝私がだれかに飲ませた。（～サ・レ・シメ・ラレタ）

やりもらいの「～してもらう」の意味でこの動詞が使用されることがある。

taro:=N] kSsis₁mirai[ru. 太郎に着させられろ。＝着せてもらえ。
 k₁nu:] uri=N=tu munu: [fi:]s₁mirarita₁. きのうあの人にものをくれさせられた。＝食べ
 させてもらった。

3.6 可能動詞

受動動詞とおなじ作り方である。

v[vanna] ure: ju[maitu] s₁? > [N: ju]maitu s₁. /ju]maiN. あなたにはこれは読める? >
 うん、読める。／読めない。
 ja[rapi=nna ka]kaiN. 子どもには書けない。
 pSsikap₁ niv]va[iN. 寒いから寝られない。
 u[re: s₁v]karipa [fa:]iN anu=nna. これは酸っぱいから食べられない、私には。
 upui]raiNnipa=[tu] dami. 覚えられないからダメだ。
 u[re:] imikari[pa kSsi]raiN. これは小さいから着られない。
 jupe:] pussa [mi:]rai=tu uta₁. タベは星は見えていた。
 ki:=nu] akSsa: [mpe:]itatam. 今日の暑さは耐えられなかった。

3.7 やりもらい（授受）

やりもらいはサービス関係を表現する。この方言のやりもらいでは動作主体を主語にする能動的な構文しかみられない。～クレルに対応する動詞の使用が基本的だが、～ヤルに対応する動詞が～ヤルのほかに～クレルの意味でも使用される。

受動的な～モラウの意味には受動動詞や使役動詞を使用する（既述）か、能動的な同義の動詞を使用する。

ka[ri=kara=tu] narai. あの人から習った。＝あの人に教えてもらった。

3.7.1 してくれる numi fi:]

動詞中止形と補助動詞 fi:] との組み合わせによる。

主語であらわされるサービスの送り手が話し手や第三者のためにすることを、受け手のがわからあらず。願望に使用されることもある。

ikSmai] ₁wu:=[pa: ₁a]=ka=tu [kai] fi:]. いつも魚はお父さんが買ってくれる。
 u[ma=N] p₁[ri] fi:ru. ここに座ってくれ。
 N[me] pi:ma u[ri] fi:[te:. もう少しいてくれたらなあ。願望形
 pe:pe:] sa[kil] fi:ru. 早く咲いてくれ！ 願望

3.7.2 してやる・してくれる numi ja]

動詞中止形と補助動詞 *jaŋ* との組み合わせによる。

主語であらわされるサービスの受け手のためにすることを、送り手のがわからあらず、という日本語的な～ヤルの用法のほかに、主語であらわされるサービスの送り手が話し手や第三者のためにすることを、受け手のがわからあらず、という～クレル的な用法もある。また、願望に使用されることもある。

faiŋ jarati. 食べてやろう。目上には不自然。

a[nu=N=mai] uri: [kai] jari. 私にもこれを買ってくれ。

vva=kaŋ aŋre:ri. あなたが言ってくれ。＜*aŋri jari*（言ってやれ）

u[ma=N] ka[ke:]rata. ここに書いてくれ。＜*kaki jarata*（書いてやらないか）

f[fe:]ri. 降ってくれ！雨に言う。＜*ffi jari*（降ってやれ）願望

3.7.3 してやる *numi turasŋ*

動詞中止形と補助動詞 *turasŋ* との組み合わせによる。

使役的な補助動詞とともに～ヤルの意味で使用される。

vva=ka tatakStika:] aN=mai [tataki tura]satissa:. お前がたたいたら、おれもたたいてやるぞ。

3.8 してみる（試行）*numi mi:ŋ*

動詞中止形と補助動詞 *mi:ŋ* との組み合わせによる。

試みにする動作や実際におこなわれる動作をあらわす。

m:nasi=tuŋ huni: kuki [mi:]. みんなで船をこいでみよう。

u[nu] ŋwu:=[pa:] ni:[ta jaki] mi:ti. この魚を煮ないで焼いてみよう。

u[nu] ffuŋ=[a] akŋmakari[pa] numiŋ mi:ru. この薬は甘いから飲んでみろ。

fa[i] mi:[te:]. 食べてみたいなあ。

kSskiŋ mi:ta[ka:] ssaiN. 聞いてみないとわからない。

3.9 しておく（準備・痕跡）*numi ukŋ*

動詞中止形と補助動詞 *ukŋ* との組み合わせによる。（本動詞の「置く」は *uskŋ*）

対象を変化させてその状態を持続させたり、準備的に、あるいは事前に動作をおこなうことをあらわす。

mmeŋ ffi:ki. もう閉めておけ。

kaiŋ uski:kS ku]mata. 買っておいでしておく。

uri:] mi: u[ka:] sɯne:] ukaN. これを見ておけば死ななかつたのに。
i:pa:=tu] numa[ta] ukS. 幸いに飲んでいない。運良く飲まなかつた。

動作や存在の痕跡をあらわすこともある。

appi] ukɿ. 遊んである。散らかつたおもちゃを見て。
taukara:=ka=tu numi] ukɿ. だれかが飲んである。コップを見て。
taukara:=ka=tu uri:]kS. だれかがいたようだ。座布団を見て。
naukara:=nu=tu] ari:kɿ. なにかがあつたようだ。

この動詞の否定形は、継続相の否定（まだ～していない）の意味に使用される。

nu[me:] ukaN. 飲んではいない。
N[mita] a[ɰke:] ukaN. まだ歩いてはいない。
kare:] karaku:=pa: sure: ukaN. あいつは髪を切ってはいない。
sa[tare:] m[mita] fai=[ja u]katatam. さっきはまだ食べてはいなかつた。

3.10 してくる numi kSs / numi kɿ

動詞中止形と補助動詞 kSs/kɿ との組み合わせによる。
ある動作をしてから近づくことや、しながら近づくことをあらわす。

ikSmai] ɰwu:=[pa: ɰa]=ka=tu [kai] kSs. いつも魚はお父さんが買ってくる。
mus=nu=tu] pSski=kara [iti k!isi. 虫が穴から出てきた。
passi=[tu] ka[i=ja ku:]tataɰ. 忘れて買ってこなかつた。
masakaN] aɰri ku:. ちゃんと言ってこい。はっきりと。
a[ɰke:] kSsna. 歩いては来るな。

変化の過程がすすむことや、発生や消滅の過程がすすむことをあらわす。

akSf=tu] nari kɿ:. 暑くなってくる。
u[pu]ami=N=tu [na]ri kɿ:. 大雨になってくる。
mme pari] ku:[kam. もう晴れてきそうだ。
akaɰ] ku:kam. 上がってきそうだ。雨が。
mme ffi]=tu kS:. もう降ってきた。もう降りはじめた。

3.11 していく

本動詞として「行く（帰る）」の意味に使用されるのは、ikɿ、peɿ、Nkiɿ だが、ここで補助動詞として使用されるのは ikɿ と peɿ である。

3. 1 1. 1 numi ik₁

動詞中止形と補助動詞 ik₁ との組み合わせによる。

ある動作をしてから遠ざかることや、しながら遠ざかることをあらわす。アスペクトにかかわる、動作や変化のありかたの用法(4 例目)もある。

ka[ri:=mai] sui ikati. あの人も誘って行こう。

cuke: taru:=tu sa:ri ika]ti? つぎはだれを連れて行くか?

muti iki] ipi[ka. 持って行って植えに(行こう)。目的形終止

pStu=nu=tu pi:mana: [pinari] iki:ɿ. 人が少しずつ減っていつている。

3. 1 1. 2 numi pe₁

動詞中止形と補助動詞 pe₁ との組み合わせによる。

ある動作をしてから遠ざかることや、しながら遠ざかることをあらわす。アスペクトにかかわる、動作や変化のありかたの用法(4 例目)もある。

u[kamata=tu [peri. 押まないで行った。

ɿwu:] fais!iti:=[tu suku pi]Nki [peri. 魚を食べてすぐ逃げていった。

u[ma=kara] iti peri. ここから出ていけ。

sɿtaiN=tu tauf] nari pe₁. だんだん良くなっていく。

3. 1 2 してしまう numi ne:N

動詞中止形と補助動詞 ne:N との組み合わせによる。

意図の有無にかかわらず、その動作や変化が終了し、そのあとの状態であることをあらわす(終了後)。非過去形で現在の状態をあらわすが、日本語の訳では過去形になる。

maju=nu=tu m:na fai] ne:N. ネコがみんな食べてしまった。

taru=Nkai=mai] ssasata=[tu] s[ti] ne:N. だれにも知らせないで捨ててしまった。

macikai=tu kiri] ne:N. 間違っ、蹴ってしまった。

Nme] ne:N ftu na[ri] ne:N. もうなくなった。ものが。

sjkeN na:]sis!iti:=[tu u[ti] ne:N. 試験をやって落ちてしまった。

pi:] ne:tatam. 酔っぱらっちゃっていた。(過去の状態)

動作の開始をあらわす。(開始後)

mme ffi] ne:N. もう降っちゃった。雨模様だったが、降りはじめた。

3.13 しようとしている numati u₁ / numati:=tu u₁

意思動詞の意志形と補助動詞 u₁ の組み合わせで、動作を開始しようとする（開始限界達成）過程にあることをあらわす。述語に使用された動詞の意志形では一人称を基本とするが、この形式では人称をえらばない。意志形に強調辞がつくと意志形末母音が長音化する。

・ ~ti u₁

mi:ti] ussa. 見ようとしているよ。

a₁ati] u₁. 言おうとしている。

fa:=u=tu] nasas₁miti u₁. 子どもを産ませようとしている。お産の手伝いなど。

・ ~ti:=tu u₁

Nme] tata]ti:=tu u₁. もう立とうとしている。

a:ku:=tu] a₁ati u₁. 歌を歌おうとしている。

nasas₁miti:=tu] uta₁. 産ませようとしていた。お産の手伝いなど。

aN=mai numati:=tu] uta₁. 私も飲もうとしていた。

無意思動詞の意志形と補助動詞 u₁ の組み合わせで、動作や変化がおこりそうであること（開始限界達成）をあらわす。

ami=nu=tu] ffati u₁. 雨が降ろうとしている。

ke:]riti:=tu u₁. 消えようとしている。

s₁na]ti:=tu u₁. 死にそうにしている。

補助動詞が ure:のかたちをとって、反語をあらわす。

ka:ma=N numati: u]re:. そんな遠いところで飲もうとしているか！＝ここで飲め。

vva nau=ju=tu numati: u]re:. おまえはなにを飲もうとしているか！＝飲むな。

nau=ju=tu asiti: u]re:. なにをしようとしているか！ 子どもに注意する。

3.14 したことがない numi mi:N

動詞中止形と補助動詞 mi:N との組み合わせによる。中止形は ja とりたて形になるのが基本的である。

それまで未経験であることや、一定期間それがおこっていないことをあらわす。

unu saki:=pa: mmita nu[me]: mi:N. この酒はまだ飲んだことがない。

ju[ke: ffe:] mi:N. 雪は降ったことがない。

unakai] ite:i=[ja] mi:N. 長く会っていない。

kunu₁[a] kS[sje:] mi:N. 最近は来たことがない。

unu] tu₁=[a mi:=ja:] mi:N [tu₁. この鳥は見たことがない鳥だ。

その時にはじめて経験したことをあらわすときは過去形が使用される。

k₁nu]=ta:[se: mi:ja mi:]tatam. きのうまで見たことがなかった。もう見た。

nama]=ta:[se: faija mi:]tatam. いままで食べたことがなかった。もう食べた。

3.15 派生形容詞

3.15.1 したい numpuskam

動作や変化を希望していることをあらわす。一人称が基本であるが、推量の用法やシタガルに相当する派生形式では三人称にも使用される。

・一人称

kari=sui] mi:tu=N [na₁]puskam. あのひと夫婦になりたい。

ara:] u[taf] na₁puf[fa] ne:N. 私は太りたくない。

k₁[nu:] ikS[puffa] ne:tatam. きのうは行きたくなかった。

・三人称

kari=mai fau]pus[kam] pe:m. あの人も食べたいかなあ。

num]pus[sa as=tu] s₁. 飲みたがる。あの人は。

kari=mai fau]pus[sa as=tu] s₁. あの人も食べたいよ。これを食べたがる。

3.15.2 しやすい numjaaskam

動作をするのが容易であることや、ものの性質・特徴をあらわす。

ure:] kFf]jaaskam. これは作りやすい。

u[re: ka₁]kari[pa] mukS]jaaskam. これは軽いから持ちやすい。

fau]jaaskatam. 食べやすかった。

u[nu] sake: [pi:]ja:skam. この酒は酔いやすい。

3.15.3 しにくい numkurikam

動作をするのが困難であることをあらわす。

u[re:] nu[m]kurikam. これは飲みにくい。

u[re: as]kurikam. これはしにくい。やりにくい。

ki:=ja] imma [mi:]kurikam. きょうは海は見えにくい。

fau]kurikatam. 食べにくかった。

3.16 確かさ

この方言には日本語の断定・スルー推量・スルダロウのような、できごとに対する話し手の認識の確かさにかかわるムード語形の対立はみられない。かわりに、いくつかの補助的な単語によって確かさの程度をあらわしわけける。

3.16.1 kumata

kumata は連体形につづき、すでに予定されているなど、確かさの程度が極めて高いことをあらわす。話し手の未来の動作であっても、意志的なものでなければこのかたちが使用される。

・予定性

vva=[mai] aN=[mai ikS] kuma[ta. あなたも私も行くことになっている。

karita:] jaka[ti mi:tu=N] na₁ kumata. かれらはやがて夫婦になる。

ki:=ja] nau=ju=tu fau kumate:]re:? きょうはなにを食べるの？

v[va=mai] aN=mai [ikS kumata ara]N. あなたも私も行くことになっていない。

ki:=[ja ikS] kumata araN. きょうは行くことになっていない。行く予定がない。

・意志

takS kumata] pe:m. [tatate:N] pe:m. 立とうかな。立つまいかな。

・連体用法

ki:] fau kumata=nu munu: muti ku:. きょう食べることになっているものを持ってこい。

ata=Nkai] kSs kumata=nu pStu=[N] uri:=pa: [fi:]ti. あした来る予定の人にこれをやる。いまやる。

・名詞用法

mme] as kumata: [ne:N. もうすることがない。もうする「予定」がない。

Nnama=kara mi:] kumata=u=[pa: pStu=Nkai=[ja] a₁na. いまから見ることを人には言うな。

3.16.2 pak₁

pak₁ は連体形につづき、kumata ほどではないが、確かさの程度がかなり高いことをあらわす。ハズに対応する。

kari=ma]i kanara[k₁] ikS=tu s₁ pak₁. あいつもかならず行くと思う。

u[ka]m kata [pak₁. 拌みがはじまるだろう。

ff=tu s₁ pak₁ [ja:. 降るんじゃないかな。

urita:] pak₁. いたはずだ。

aNsi=nu] munu: m[me ne:N] pak₁. こういうものはもうないと思う。

3. 1 6. 3 pe:m

pe:m は日本語古代語のベシに由来し、のべたてる文に推量的な気持ちをそえる。また、意志・勧誘の文には～しようかな、という軽い気持ちをそえる。

・ 推量

ka[ri:] m:na [fa:i=tu s] pe:m. あれをみんな食べられるかなあ。

u[ma=Nkai] kS: kuma[ta] pe:m. ここに来るのかな。遠くの人を見て。

ure: muiN] pe:m. これは燃えないんじゃないかな。

・ 様態

a[me:] f: kuma[ta] pe:m. 雨が降りそうだ。

taukara:=ka=tu] ure:ŋ] pe:m. だれかがいたようだ。

]nivve:ŋ] pe:m. 寝てあるのかなあ。そうみたいだなあ。

・ 意志 意志形

akSkaripa] mikŋ: amiti pe:m. 暑いから水を浴びようかな。

fa:ti] pe:m [fa:te:N] pe:m. 食べようかな、食べまいかな。

takS kumata] pe:m. [tatate:N] pe:m. 立とうかな。立つまいかな。

・ 勧誘 意志形

nu[mati] pe:m. 飲もうかねえ。

ma:takina] numa[ti] pe:m. いっしょに飲もうかねえ。

3. 1 6. 4 ira:

ira:は自問やたずね、同意もとめや意志、勧誘に使用され、軽い気持ちをそえる。疑問詞をふくむ文では～ka ira:のかたちをとり、疑問詞がないばあいには ira:だけがつけられる。

・ 自問

kare:] naupasi=nu saki:=[tu] nu]m=ka [i]ra:. あいつはどんな酒を飲むかなあ。

ame: iks] ffati=ka [i]ra:. 雨はいつ降るかなあ。

ta:=ka=tu pŋri:taŋ]=ka [i]ra:. だれが座っていたのかな。座布団が暖かいのをみて。

・ たずね

naupasi kFfripa=tu tau=ka i]ra:? どう作ればいいですか？

u[N] mi:ta:ŋ] muna: N[ti=ka i]ra:? あのとき見たものはどれだった？

・ 同意求め

kaki] pana [ira]:. きれいな花だねえ。

Nmakatam [i]ra:. おいしかったねえ。

・ 意志・勧誘 意志形

aN=mai] akusiti [i]ra. 私も仲間に入ろうかな。友達に入る。意志

fa:ti [i]ra:. 食べようね。勧誘

3.16.5 ja:

ja:はのべたてる文に推量的な気持ちをそえる。また、意志・勧誘の文には～しようかな、という軽い気持ちをそえる。

・ 推量

a[ta=naki=kara[: Nme] pSs!if] naɿ=tu s [ja:. あしたあたりからもう寒くなるだろう。
u[nu] fa:=[ja] Nme jakati niv=tu s [ja:. この子どもはもうやがて眠るんじゃないかなあ。

・ 意志 勧誘形

ika [ja:. 行こうかな。独話。
numa [ja:. 飲もうかな。独話。

・ 意志 意志形

fa:ti [ja:. 食べようかな。独話。

・ 勧誘 勧誘形

ata=mai] ika [ja:. あしたも行こうね。
ki:=nu] juɿ=[ja sake:] numi appa [ja:. 今夜は酒を飲んで遊ぼう。

・ 勧誘 意志形

ikati [ja:. 行こうね。

3.16.6 i

i は意志の意味に迷いの気持ちをそえたり、勧誘の意味に同意求めの気持ちをそえる

・ 意志 意志形

numati [i. 飲もうかなあ。どうしようかなあ。
naupasi] ikepasi] asiti [i. どうしようかな。

・ 勧誘 意志形

fa:ti [i. 食べようね。
asiti [i. しよう。やろう。

・ 勧誘 勧誘形

ma:takina] pi: [i. いっしょに酔おうね～。
u[ri:] ju:ɿ=[u] asi [i. これを夕飯にしようね。
tu:] asi [i. さあ、しようね。やろうね。

3.17 様態からの推定

3.17.1 kata

動作や変化の開始の兆候や終了の兆候といった様態を根拠にした推定は、連体非過去形＋kataであらわされることが多い。（終了限界の用法は、シテアルの痕跡やシテオクの痕跡にもある。）コンピュータによるテンスの対立がある。

- ・ 開始限界 動作や変化の開始に向かっている段階であることをあらわす。

mme] jaka[ti ukam] kata. もうやがて拌みがはじまりそうだ。

mme sɿn] kata. もう死にそうだ。

mme] akaɿ] kata. (雨が)もうあがりそうだ。

uki kata=[tu] jata:ɿ. 起きそうだった。

- ・ 終了限界 動作や変化の終了に向かっている段階であることをあらわす。

mme] nu[mas] kata. もう飲ませ終わろうとしている。

mme] jaka[ti aɿ] kata. もう話し終わりそうだ。

mme] ukam] kata. もう拌みが終わりそうだ。

kSsi] kata. 着終わりそうだ。

3. 1 7. 2 ku:kam

動作や変化の開始の兆候を根拠に推測する。形容詞型でテンスの対立がある。(動詞「来る」に関係するか)

- ・ 開始限界

kare: num] ku:kam. あの人は飲みそうだ。

mme pari] ku:[kam. もう晴れてきそうだ。

mme] p!isif naɿ] ku:kam. もう寒くなりそうだ。

mmaf] naɿ ku:kam. おいしくなりそうだ。料理をしながら。

kare: num] ku:katam. あの人は飲みそうだった。

3. 1 7. 3 saika

その場の状況から、そうだろうと推測する。テンスの対立はないようである。

fai=tu] pere:ɿ sai[ka. 食べて帰ってあるようだ。

num] kata sai[ka. もうすぐ飲むだろう。あの人は。

Nme jakati] fa:i kata sai[ka. もうすぐ食べられるだろう。料理を作っているのをみて。

3. 1 8 伝聞

伝聞にはつぎの形式が使用される。-tta と tim の使用が多い。形式間の違いの有無については未確認。

3. 1 8. 1 -tta

taro:=ka=tu] jara[pi=N fku: kSsi]sɿmi kumatat[ta. 太郎が子どもに服を着せるそうだ。

ari]=tu ut[ta. あるそうだ。

fa:]te:Nt[ta. 食べないそうだ。食べないって。

3. 1 8 . 2 tim

kare:] N[ki] kumata [tim. あの人は帰るそうだ。

fai] tim. 食べたそうだ。

fa:]te:N [tim. 食べないそうだ。食べないって。

ari]:i tim. あるそうだ。

3. 1 8 . 3 sauna

N[ki] kuma[ta sa]una. 帰るそうだ。

kari=mai] kSs kumata sauna. あいつも来るそうだ。

nustu=nu=tu Nta=kara:=N] u₁ sauna. 泥棒がどこかにいるようだ。

a[ri=tu u₁] sauna. あるそうだ。

4 形容詞活用の概要

ここでは am/a₁ 型形容詞の活用の概要についてのべる。肯定形の活用を中心とし、否定形については適宜ふれるにとどめる。この方言には形容詞語幹の重複形が多くみられるが、これの詳細については稿をあらためたい。

4. 1 活用表

mmakam (おいしい) を例に

終止非過去 mmakam / mmaka₁ / mmaka: (/ mma:-mma 重複形) おいしい

過去 mmakatam / mmakata₁ / mmakata: おいしかった

連体非過去 mma (/ mma:-mma=nu 重複形) おいしい

過去 mmakata₁ おいしかった

中止 mmaf おいしく

条件仮定 1 mmakatika: おいしければ／おいしかったら

仮定 2 mmakatarapa: おいしければ／おいしかったら

譲歩 mmakarapamai おいしくても

接続順接 1 mmakaripa/mmakataripa おいしいから／おいしかったから

順接 2 mmakare: おいしいから

順接 3 mmakari:ri(pa) おいしいから

順接 4 mmasa jaripa / mmasa asi:ripa おいしいから

逆接 mmakassuka / mmakatassuka おいしいけど／おいしかったけど

4.2 終止形

非過去形 mmakam / mmakaŋ / mmaka: (/ mma:-mma 重複形)

u[ri=ka=tu] marukaŋ. これが短い。

uri=[mai] mmaka:. これもおいしいよー。

kama[ras[ka]m. 悲しい。

ak[ki] jo[: pSsi]kam. う、寒い！ 外に出て。

kanamaŋ=nu=tu] jamkaŋ. 頭が痛い。

(ak[ki] ta[ka:]·taka. あら、高い！ 重複形)

過去形 mmakatam / mmakataŋ / mmakata:

uri=ka=tu sukara[kataŋ. これが塩辛かった。

u[nu si]mukS[sa] u[mussi]katam. この本はおもしろかった。

uturuski]katam. 怖かった。恐ろしかった。

ure: asi=tu] pu[ka]rikata:. これをやって疲れたよ。

4.3 連体形

非過去形 mma (/ mma:-mma=nu 重複形)

sataŋ] fau[taŋ] m[ma] ka:s[su] muti ku:. さっき食べたおいしいお菓子を持ってこい。

im=N[kai] maikaŋ tukuma=nu=[tu tau]kaŋ. 海に近いところがいい。

kakŋ]puskaŋ kŋ:=wu=ka[ra] kaki. 書きたい字をから書け。

kare:] taukaŋ pStu. あれはいい人だ。

(ure:] pukuru:-pukuru=[nu] mikŋ. これは冷たい水だよ。重複形)

過去形 mmakataŋ

sakŋN] fau[taŋ] mmaka[taŋ] ka:s[su] muti ku:. さっき食べたおいしかったお菓子を持ってこい。

Nma[pi] kFfipa=tu tauka[taŋ] munu:. もっと作ればよかったのに。

4.4 中止形 mmaf

文を中止する機能というよりは、形容詞の否定形やナルなどの補助動詞との組み合わせに使用されるのがふつうのようである。

a[kaffa] ne:N. 赤くない。

a[kaffa] ne:tatam. 赤くなかった。

u[re:] ma:[nu:] ivf[fa] ne:N. これそんなに重くないよ。

N[me] sku akSf naŋ=tu sŋ. もうすぐ暑くなる。

4.5 条件形

仮定1 mmakatika:

kaɿkatika:] ka[ki. かゆかったらかけ。

ivkatika:] mu[ti] fi:ti. 重いなら持ってやろう。

skatakatika: kSka:]te:N. きたなかったら使わない。

仮定2 mmakatarapa:

mmakatarapa:] numi:ka:. おいしかったら飲んでおけばよかった。

aNsi:] jaskatara[pa:] ka[i kSsi:]ka:. そんなに安かったのなら買ってきておけばよかった。

4.6 譲歩形 mmakarapamai

u[re:] sskatakarapamai. これは汚くてもいい。

Nma]pe akakarapamai. もっと赤くてもいい。

ivkarapa[mai] mu[ti] ikati. 重くても持っていく。

4.7 接続形

順接

順接1 mmakaripa/mmakataripa

ki:=ja] pSsikaripa [ika]te:N. きょうは寒いから行かない。

kSskatakaripa=[tu] kSka:tataɿ. 汚いから使わなかった。

unu ni:=nu=tu ivka]tari[pa] futa:ɿ=si mukS[taɿ. 荷物が重かったので、二人でもった。

順接2 mmakare:

Nmakare:] fa[i] mi:ru. おいしいから食べてごらん。

ure:] Nmakare: [me]ramati. これはおいしいからめしあがれ。敬語

ure:] umussikare[:] jumi. これはおもしろいから読め。

順接3 mmakari:ri(pa)<~ku ari uri(pa)

pSsikaripa] niv]va[iN. 寒いから寝られない。

kaukaripa=tu N]pe:[iN. かゆくて我慢できない。

kaɿkari:ri=[tu] fta:kS [muta]si. 軽いから二つ持たせた。

順接4 mmasa jaripa / mmasa asi:ripa

ki:=ja] pSsisajaripa] ikaiN. きょうは寒いから行けない。

u[re: upu:sa]jaripa [ju:ɿ=ta:]si [fai. これはたくさんだから、夕飯まで食べろ。

pSsisasi:ri[pa] ikaiN. 寒さが続いているから行けない。

逆接 mmakassuka / mmakatassuka

Nkemaskas[su[ka nau=nu=tu] uŋka [i]ra:ʔ うるさいけど、なにがいのかなあ？

mmakatassuka=[tu] mura:tataŋ. おいしかったけど、もらわなかった。

a[ta=mai ffi]pa=[tu] taukassuka. あしたも降ればいいけど。

5 コピュラ型形容詞

コピュラ型形容詞については表をあげるにとどめる。

終止 非過去 gaba: 大きい / kitati 別だ・違う / dami ダメだ / zjo:to: いい

過去 gaba: jatam 大きかった / dami=tu jataŋ ダメだった / zjo:to: jata:ŋ よかった

連体 非過去 gaba: ŋwu 大きい魚 / kitati kata 別の・違う匂い / damina pStu ダメな・いやな人

過去 (未確認)

中止 damiN (nari)ダメに(なった) / zjo:to:N (uski)きれいに(しておけ)

表記について

pS と kS は破裂のあとに摩擦の強い s をともなう p と k の音をあらわす。kF は破裂のあとに摩擦の強い f をともなう k の音をあらわす。!はつぎの母音が無声化することをあらわす。聞こえの上で、pS と p!i の区別は容易ではない。

文献

- ・金田章宏 2018a 「沖縄県宮古語大神方言」琉球大学国際沖縄研究所 2018『平成 29 年度危機的な状況にある言語・方言のアーカイブ化を想定した実地調査研究』文化庁委託事業報告書 pp.153-180
- ・金田章宏 2018b 「宮古語大神方言 文法化にかかわって」沖縄言語研究センター定例研究会（発表 2018.12.1：沖縄）
- ・金田章宏 2019 「宮古語大神方言 動詞と形容詞の活用の概要」文化庁委託事業成果報告会（発表 2019.2.2：東京）
- ・高橋太郎ほか 2005 『日本語の文法』ひつじ書房

本稿で使用した方言資料には、下記の研究プロジェクトによる調査研究の成果もふくまれる。

国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（プロジェクトリーダー：木部暢子）

宮古語大神方言 動詞の活用タイプ

動詞	連体	終止非過去	否定命令2	否定命令1	否定終止非過去1	否定中止	否定形命令	命令	中止(=過去1)
	Φ	Φ	tu:	na	aN	ata	ata	i	i
飲む	num	num	num-tu:	num-na	num-aN	num-ata	num-ata	num-i	num-i
読む・しゃべる	jum	jum	jum-tu:	jum-na	jum-aN	jum-ata	jum-ata	jum-i	jum-i
拝む	ukam	ukam	ukam-tu:	ukam-na	ukam-aN	ukam-ata	ukam-ata	ukam-i	ukam-i
閉める	ff	ff	ff-tu:	ff-na	ff-aN	ff-ata	ff-ata	ff-i	ff-i
降る	ff	ff	ff-tu:	ff-na	ff-aN	ff-ata	ff-ata	ff-i	ff-i
嗜む	ff	ff	ff-tu:	ff-na	ff-aN	ff-ata	ff-ata	ff-i	ff-i
作る	kFf	kFf	kFf-tu:	kFf-na	kFf-aN	kFf-ata	kFf-ata	kFf-i	kFf-i
売る	Vv	Vv	Vv-tu:	Vv-na	Vv-aN	Vv-ata	Vv-ata	Vv-i	Vv-i
かぶる	kaVv	kaVv	kaVv-tu:	kaVv-na	kaVv-aN	kaVv-ata	kaVv-ata	kaVv-i	kaVv-i
ヘラで耕す	saVv	saVv	saVv-tu:	saVv-na	saVv-aN	saVv-ata	saVv-ata	saVv-i	saVv-i
	Φ	Φ	tu:	na	(v)aNわたり音v	(v)ata	(v)ata	(v)i	(v)i
眠る	niV	niV	niV-tu:	niV-na	niV-(v)aN	niV-(v)ata	niV-(v)ata	niV-(v)i	niV-(v)i
	Φ	ɾ	tu:	na	aN	ata	ata	i	i
切る2(鉋や手で)	ffas	ffas-ɾ	ffas-tu:	ffas-na	ffas-aN	ffas-ata	ffas-ata	ffas-i	ffas-i
切る1 kss(鉋や手で)	kSsas	kSsas-ɾ	kSsas-tu:	kSsas-na	kSsas-aN/kSs-aN	kSsas-ata	kSsas-ata	kSsas-i/kSs-i	kSsas-i/kSs-i
散らかす	ske:ras	ske:ras-ɾ	ske:ras-tu:	ske:ras-na	ske:ras-aN	ske:ras-ata	ske:ras-ata	ske:ras-i	ske:ras-i
走る	ske:s	ske:s-ɾ	ske:s-tu:	ske:s-na	ske:s-aN	ske:s-ata	ske:s-ata	ske:s-i	ske:s-i
蹴る2	kire:s	kire:s-ɾ	kire:s-tu:	kire:s-na	kire:s-aN	kire:s-ata	kire:s-ata	kire:s-i	kire:s-i
教える	nara:s	nara:s-ɾ	nara:s-tu:	nara:s-na	nara:s-aN	nara:s-ata	nara:s-ata	nara:s-i	nara:s-i
	Φ	Φ	tu:	na	(ɾ)aNわたり音ɾ	(ɾ)ata	(ɾ)ata	ri	ri
歌う・言う	aɾ	aɾ	aɾ-tu:	aɾ-na	aɾ-(ɾ)aN	aɾ-(ɾ)ata	aɾ-(ɾ)ata	aɾ-ri	aɾ-ri
しゃべる・言う	munuɾ	munuɾ	munuɾ-tu:	munuɾ-na	munuɾ-(ɾ)aN	munuɾ-(ɾ)ata	munuɾ-(ɾ)ata	munuɾ-ri	munuɾ-ri
	(ɾ)	(ɾ)	(ɾ)tu:	(ɾ)na	(r)aN	(r)ata	(r)ata	(r)i	(r)i
取る	tuɾ	tuɾ	tuɾ-tu:	tuɾ-na	tuɾ-aN	tuɾ-ata	tuɾ-ata	tuɾ-i	tuɾ-i
蹴る1	kiɾ	kiɾ	kiɾ-tu:	kiɾ-na	kiɾ-aN	kiɾ-ata	kiɾ-ata	kiɾ-i	kiɾ-i
行く・帰る1	peɾ	peɾ	peɾ-tu:	peɾ-na	peɾ-aN	peɾ-ata	peɾ-ata	peɾ-i	peɾ-i
いる・をる	uɾ	uɾ	uɾ-tu:	uɾ-na	uɾ-aN	uɾ-ata	uɾ-ata	uɾ-i	uɾ-i (X)
ある	aɾ	aɾ(ari:ɾ/ari:m)	X	X	aɾ-aN	aɾ-ata	X	(ari:ri<ari uri)	aɾ-i (X)
なる	naɾ	naɾ	naɾ-tu:	naɾ-na	naɾ-aN	naɾ-ata	naɾ-ata	naɾ-i	naɾ-i
集まる	ukana:ɾ	ukana:ɾ	ukana:ɾ-tu:	ukana:ɾ-na	ukana:r-aN	ukana:r-ata	ukana:r-ata	ukana:r-i	ukana:r-i
準備する	sukaɾ	sukaɾ	sukaɾ-tu:	sukaɾ-na	sukaɾ-aN	sukaɾ-ata	sukaɾ-ata	sukaɾ-i	sukaɾ-i
	ɾ	ɾ	ɾ-tu:	ɾ-na	(ɾ)aNわたり音ɾ	(ɾ)ata	(ɾ)ata	ri	ri
座る	pɾ-ɾ	pɾ-ɾ	pɾ-ɾ-tu:	pɾ-ɾ-na	pɾ-(ɾ)aN	pɾ-(ɾ)ata	pɾ-(ɾ)ata	pɾ-ri	pɾ-ri
切る3 ski(包丁で)	ski-ɾ	ski-ɾ	ski-ɾ-tu:	ski-ɾ-na	ski-(ɾ)aN	ski-(ɾ)ata	ski-(ɾ)ata	ski-ri	ski-ri
入る	paɾ-ɾ	paɾ-ɾ	paɾ-ɾ-tu:	paɾ-ɾ-na	paɾ-(ɾ)aN	paɾ-(ɾ)ata	paɾ-(ɾ)ata	paɾ-ri	paɾ-ri

動詞	連体	終止非過去	否定命令2	否定命令1	否定終止非過去1	否定中止	否定形命令	命令	中止(=過去1)
	ɾ/S	ɾ/S	ɾ/S-tu:	ɾ/S-na	aN	ata	ata	i	i
遊ぶ	app-ɾ	app-ɾ	app-ɾ-tu:	app-ɾ-na	app-aN	app-ata	app-ata	app-i	app-i
置く	usk-ɾ	usk-ɾ	usk-ɾ-tu:	usk-ɾ-na	usk-aN	usk-ata	usk-ata	usk-i	usk-i
行く・帰る2	ik-S	ik-ɾ~ik-S	ik-S-tu:	ik-S-na	ik-aN	ik-ata	ik-ata	ik-i	ik-i
書く	kak-S	kak-ɾ	kak-S-tu:	kak-S-na	kak-aN	kak-ata	kak-ata	kak-i	kak-i
立つ	tak-S	tak-S	tak-S-tu:	tak-S-na	tat-aN	tat-ata	tat-ata	tat-i	tat-i
歩く	ank-S	ank-S	ank-S-tu:	ank-S-na	ank-aN	ank-ata	ank-ata	ank-i	ank-i
	u	u	u-tu:	u-na	aN	ata	ata	i	i
食べる	fa-u	fa-u	fa-u-tu:	fa-u-na	fa-aN	fa-ata	fa-ata	fa-i	fa-i
追う	wa-u	wa-u	wa-u-tu:	wa-u-na	wa-aN	wa-ata	wa-ata	wa-i	wa-i
買う	ka-u	ka-u	ka-u-tu:	ka-u-na	ka-aN	ka-ata	ka-ata	ka-i	ka-i
洗う1	ara-u	ara-u	ara-u-tu:	ara-u-na	ara-aN	ara-ata	ara-ata	ara-i	ara-i
笑う	para-u	para-u	para-u-tu:	para-u-na	para-aN	para-ata	para-ata	para-i	para-i
会う	ite-u	ite-u	ite-u-tu:	ite-u-na	ite-ei-N	ite-e-ta	ite-e-ta	ite-i	ite-i
	u-u	u-u	u-u-tu:	u-u-na	a-aN	a-ata	a-ata	u-i	u-i
思う	um-u-u	um-u-u	um-u-u-tu:	um-u-u-na	um-a-aN	um-a-ata	um-a-ata	um-u-i	um-u-i
拾う	pSs-u-u	pSs-u-u	pSs-u-u-tu:	pSs-u-u-na	pSs-a-aN	pSs-a-ata	pSs-a-ata	pSs-u-i	pSs-u-i
	Φ		(i-ɾ)-tu:	(i-N)-na	(a)N	(a)ta	ta		(-i)
沈む	sukum	sukumi-ɾ	sukum(i-ɾ)-tu:	sukum(i-N)-na	sukum-aN/sukumi-N	sukum-ata/sukumi-ta	sukumi-ta	sukum-i(-ru)	sukum(-i)
死ぬ	sɾn	sɾn(i-ɾ)	sɾn(i-ɾ)-tu:	sɾn(i-N)-na	sɾn-aN/sɾni-N	sɾn-ata/sɾni-ta	sɾni-ta	sɾni-ru	sɾn(-i)
	Φ	ɾ	ɾ-tu:	N-na	N	ta	ta	ru	Φ
見る	mi:	mi:-ɾ	mi:-ɾ-tu:	mi:-N-na	mi:-N	mi:-ta	mi:-ta	mi:-ru	mi:
やる・あげる	fi:	fi:-ɾ	fi:-ɾ-tu:	fi:-N-na	fi:-N	fi:-ta	fi:-ta	fi:-ru	fi:
酔う	pi:	pi:-ɾ	pi:-ɾ-tu:	pi:-N-na	pi:-N	pi:-ta	pi:-ta	pi:-ru	pi:
考える	kaNkai	kaNkai-ɾ	kaNkai-ɾ-tu:	kaNkai-N-na	kaNkai-N	kaNkai-ta	kaNkai-ta	kaNkai-ru	kaNkai
洗う2	sumi	sumi-ɾ	sumi-ɾ-tu:	sumi-N-na	sumi-N	sumi-ta	sumi-ta	sumi-ru	sumi
探す・拾う	tumi	tumi-ɾ	tumi-ɾ-tu:	tumi-N-na	tumi-N	tumi-ta	tumi-ta	tumi-ru	tumi
着る	kSsi	kSsi-ɾ	kSsi-ɾ-tu:	kSsi-N-na	kSsi-N	kSsi-ta	kSsi-ta	kSsi-ru	kSsi
落ちる	uti	uti-ɾ	uti-ɾ-tu:	uti-N-na	uti-N	uti-ta	uti-ta	uti-ru	uti
起きる	uki	uki-ɾ	uki-ɾ-tu:	uki-N-na	uki-N	uki-ta	uki-ta	uki-ru	uki
あける	aki	aki-ɾ	aki-ɾ-tu:	aki-N-na	aki-N	aki-ta	aki-ta	aki-ru	aki
耕す	kati	kati-ɾ	kati-ɾ-tu:	kati-N-na	kati-N	kati-ta	kati-ta	kati-ru	kati
植える	ipi	ipi-ɾ	ipi-ɾ-tu:	ipi-N-na	ipi-N	ipi-ta	ipi-ta	ipi-ru	ipi
帰る・行く3	Nki	Nki-ɾ	Nki-ɾ-tu:	Nki-N-na	Nki-N	Nki-ta	Nki-ta	Nki-ru	Nki
入れる	ɾri	ɾri-ɾ	ɾri-ɾ-tu:	ɾri-N-na	ɾri-N	ɾri-ta	ɾri-ta	ɾri-ru	ɾri
消える1	ke:ri	ke:ri-ɾ	ke:ri-ɾ-tu:	ke:ri-N-na	ke:ri-N	ke:ri-ta	ke:ri-ta	ke:ri-ru	ke:ri
消える2	suti	suti-ɾ	suti-ɾ-tu:	suti-N-na	suti-N	suti-ta	suti-ta	suti-ru	suti
する	as/asɾ	asɾ	as-tu:	as-na	asi-N	asi-ta	a(s)si-ta	assu	asi
来る	kSs	kSs/kɾn	kSs-tu:	kSs-na	ku:-N	ku:-ta	ku:-ta	ku:	klis-i
ない	ne:-N	ne:-N	x	x	x	ne:-ta	x	x	(ne:Nf)